

セクション1: 製品および会社情報

製品特定名 54540
製品名 PNEUMATIC-HYDRAULIC SEALANT 36 ML

その他の識別手段
登録番号 情報なし

化学品の推奨用途及び使用上の制限
推奨用途 シーラント

推奨されない用途 情報なし

安全データシートの供給者の詳細 会社名

ITW Permatex
6875 Parkland Blvd.
Solon, Ohio 44139 USA
Telephone: 1-87-Permatex
(866) 732-9502

緊急連絡電話番号

24時間対応緊急時電話番号
Chem-Tel: 800-255-3924
International Emergency:
00+1+ 813-248-0585
Contract Number: MIS0003453

電子メールアドレス

mail@permatex.com

セクション2: 危険有害性の要約

化学物質又は混合物の区別

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 1
皮膚感作性	区分 1
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2
水生環境有害性(急性)	区分 2
水生環境有害性(長期間)	区分 3

ラベル要素



注意喚起語

・危険

危険有害性情報

- H315 - 皮膚刺激
- H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- H318 - 重篤な眼の損傷
- H371 - 臓器の障害のおそれ
- H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
- H401 - 水生生物に毒性
- H412 - 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き - 予防

- ・取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
- ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を使用すること
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと
- ・環境への放出を避けること

注意書き - 対応

- ・特別な処置が必要である(このラベルの.?を見よ)
- ・ばく露したとき、又は気分が悪い時: 医師に連絡すること
- ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- ・直ちに医師に連絡すること
- ・皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹸)で洗うこと
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
- ・皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断／手当てを受けること

注意書き - 保管

- ・施錠して保管すること

注意書き - 廃棄

- ・内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

その他の情報

- ・皮膚に接触すると有害のおそれ

他に分類できない危険有害性(HNOC)

- ・該当しない

セクション3: 組成及び成分情報**単一化学物質**

化学物質名	重量%	化審法	安衛法番号	CAS番号
2-ヒドロキシエチルメタクリレート 868-77-9	20-40	X	Present (2)-1044 (ENCS inventory number, considered an existing substance based on the Industrial Safety and Health Law) Present 9-3324 Present (6)-1184 (ENCS inventory number, considered an existing substance based on the Industrial Safety and Health Law) Present (6)-1331 (ENCS inventory number, considered an existing	868-77-9

			substance based on the Industrial Safety and Health Law)	
1-メチル-1-フェニルエチル=ヒドロペルオキシド 80-15-9	<3	X	Present (3)-1014 (ENCS inventory number, considered an existing substance based on the Industrial Safety and Health Law)	80-15-9
1,2-プロパンジオール 57-55-6	<3	X	Present 2-(8)-321, 2-(8)-323	57-55-6
マレイン酸 110-16-7	0.3	X	Present (2)-1100 (ENCS inventory number, considered an existing substance based on the Industrial Safety and Health Law) Present (6)-692 (ENCS inventory number, considered an existing substance based on the Industrial Safety and Health Law)	110-16-7
アクリル酸 79-10-7	0.25	X	Present 10-3727 (Esterification products of: acrylic acid; [condensation product of: oxirane; 3-hydroxy-2-(hydroxymethyl)-2-methylpropanoic acid; pentaerythritol]) Present 9-3305 Present (7)-1797 (ENCS inventory number, considered an existing substance based on the Industrial Safety and Health Law) Present (6)-1190 (ENCS inventory number, considered an existing substance based on the Industrial Safety and Health Law) Present (6)-1184 (ENCS inventory number, considered an existing substance based on the Industrial Safety and Health Law) Present (7)-1500 (ENCS inventory number, considered an existing substance based on the Industrial Safety and Health Law) Present 9-1536	79-10-7
クメン 98-82-8	0.2	X	Present (3)-32, (3)-22 (ENCS inventory number, considered an existing substance based on the Industrial Safety and	98-82-8

			Health Law)	
--	--	--	-------------	--

化学物質名	毒物及び劇物取締法
アクリル酸 79-10-7	有害 -X

Component	クラス 1	クラス 2
-	440	-
-	4	-
-	83	-

セクション4: 応急措置

一般的なアドバイス	症状が続く 場合には、医師に連絡すること。
吸入	直ちに医師の手当てを受ける必要はない。症状が続く 場合には、医師に連絡すること。蒸気又は分解生成物を吸入した場合には、空気の新鮮な場所に移すこと。
皮膚接触	皮膚に付着した場合: 皮膚を石けん(鹼)と水で洗うこと。皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。直ちに医師の手当てを受ける必要はない。汚染された衣服及び靴を脱ぎ、直ちに石けんと多量の水で洗うこと。炎症が続く 場合は、医師に連絡すること。
眼接触	直ちに多量の水で洗うこと。最初に洗った後、コンタクトレンズを着用している場合は外し、少なくとも15分間は洗い続けること。洗っている間は目を大きく 広げてたままにすること。症状が続く 場合には、医師に連絡すること。
経口	水で口をすすぎ、その後多量の水を飲むこと。意識のない者には、何も口から 与えてはならない。医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
応急措置をする者の保護	指定された個人保護具を使用すること。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて治療すること。

セクション5: 火災時の措置

引火性の特性	可燃性液体。
適切な消火剤	使用。粉末消火剤。二酸化炭素(CO2)。水噴霧(霧)。耐アルコール泡消火剤。
使ってはならない消火剤	なし。
化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性	製品及び空容器を熱源及び着火源から遠ざけること。発火のリスク。
消火を行う 者のための特別な保護具	指定された個人保護具を使用すること。消火を行う 者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。

セクション6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項	人員を安全な区域に退避させること。人員を漏出/漏えい(洩)の風上に遠ざけること。すべての着火源を排除すること。フラッシュバックに注意すること。静電気に対する予防措置を講ずること。指定された個人保護具を使用すること。
環境に対する注意事項	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。製品が排水路に入らないようにすること。
封じ込め方法	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 指定された個人保護具を使用すること。せき止めること。液体漏出物を砂、土またはその他の不燃性吸収物質で覆うこと。廃棄するために機械的にすくい取り、適切な容器に収容すること。汚染された表面を十分に浄化すること。不活性吸収材料で吸収すること。回収して適切に表示された容器に移すこと。静電気に対する予防措置を講ずること。

二次危険有害性の予防 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

セクション7: 取扱い及び保管上の注意

安全取扱注意事項 局所排気換気装置を併用すること。製品を取り扱うときは使用する全ての器材を接地すること。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。指定された個人保護具を使用すること。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。静電気放電(有機蒸気の着火の原因となる)を防止するために、必要な対策を講ずること。

安全な保管条件 容器を密閉して涼しく換気のよい場所に保管すること。施錠して保管すること。熱から遠ざけること。適切な表示のある容器に保管すること。

混触危険物質 強酸化剤, アミン

項目8: ばく露防止及び保護措置

暴露ガイドライン

化学物質名	日本	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
アクリル酸 79-10-7	-	-	TWA: 2 ppm S*
クメン 98-82-8	-	-	TWA: 50 ppm

技術的対策 排気換気装置を使用して空中浮揚濃度を暴露限界値未満に保つこと。

個人用保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。必要に応じてNIOSHの承認を受けた有機蒸気吸収缶又はキャニスター付の空気浄化呼吸装置を使用すること。

眼/顔面の保護具 皮膚および身体の保護

密封性の高い安全ゴーグル。
適切な保護衣。プラスチックまたはゴム製の手袋。必要に応じて、ネオプレン製の手袋、長靴、または全身ボディスーツのような耐薬品性衣類を着用すること。静電気防止靴。

一般的な衛生注意事項

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。機器、作業区域及び衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。

セクション9: 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态	液体	
外観	紫色	
臭い	軽度	
臭いのしきい値	情報なし	
特性	値	備考・方法
pH	情報なし	
融点/凝固点	情報なし	
沸点/沸点範囲	200 °C / 392 °F	
引火点	97 °C / 207 °F	タグ密閉式
蒸発速度	情報なし	
燃焼性(固体、気体)	情報なし	

空気中での可燃限界

燃焼上限:	
爆発下限	
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし
比重	1.1
水への溶解度	水と不混和
溶解度	情報なし
分配係数	情報なし
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし
動粘性率	情報なし
動的粘度	15,000 mPas @ 20°C (68°F)
爆発性	情報なし
酸化特性	情報なし

その他の情報

VOC含有率 (%)	5.143
かさ密度	情報なし

セクション10: 安定性及び反応性**安定性及び反応性**

該当しない

安定性

通常の条件下で安定.

爆発データ

機械的衝撃に対する感度	なし
静電放電に対する感度	なし

危険有害性反応の可能性

通常のプロセスではない

危険有害性な重合

通常のプロセスではない

避けるべき条件

熱、炎および火花.

混触危険物質

強酸化剤, アミン

危険有害な分解生成物

二酸化炭素

セクション11: 有害性情報**急性毒性****毒性の数値尺度 - 製品情報**未知の急性毒性

混合物の 0.83 %は急性経口毒性が未知の成分から成る

混合物の 0.83 %は急性経皮毒性が未知の成分から成る

混合物の 71.223 %は急性吸入毒性(ガス)が未知の成分から成る

混合物の 71.223 %は急性吸入毒性(蒸気)が未知の成分から成る

混合物の 68.223 %は急性吸入毒性(粉塵/ミスト)が未知の成分から成る

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出された

ATEmix(経口)	6,662.70 mg/kg
ATEmix(皮膚)	4,762.70 mg/kg
ATEmix(吸入-粉塵/ミスト)	15.90 mg/l
ATEmix(吸入-蒸気)	191.80 mg/l

毒性の数値尺度 - 成分情報

化学物質名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	= 5050 mg/kg (Rat)	> 3000 mg/kg (Rabbit)	-
1-メチル-1-フェニルエチル=ヒドロペルオキシド	= 382 mg/kg (Rat)	= 0.126 mL/kg (Rabbit)	= 220 ppm (Rat) 4 h
1,2-プロパンジオール	= 20 g/kg (Rat)	= 20800 mg/kg (Rabbit)	-
マレイン酸	= 708 mg/kg (Rat)	= 1560 mg/kg (Rabbit)	> 720 mg/m ³ (Rat) 1 h
アクリル酸	= 33500 µg/kg (Rat) = 193 mg/kg (Rat)	= 295 mg/kg (Rabbit) = 280 µL/kg (Rabbit)	= 3.6 mg/L (Rat) 4 h = 11.1 mg/L (Rat) 1 h
クメン	= 1400 mg/kg (Rat)	= 12300 µL/kg (Rabbit)	> 3577 ppm (Rat) 6 h = 39000 mg/m ³ (Rat) 4 h

短期的及び長期的ばく露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 情報なし。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 情報なし。

感作性 情報なし。

生殖細胞変異原性 情報なし。

発がん性 下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。

化学物質名	日本	IARC
アクリル酸 79-10-7		Group 3
クメン 98-82-8	2	Group 2B

IARC(国際癌研究機関)

ヒト発がん性物質として分類できない

グループ2B - ヒトに対する発がん性が疑われる

生殖毒性 情報なし。

特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 情報なし。

特定標的臓器毒性 - 反復ばく露 情報なし。

吸引性呼吸器有害性: 情報なし。

セクション12: 環境影響情報

生態毒性

混合物の 0.83 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている

水生生物に毒性 長期継続的影響によって水生生物に有害

化学物質名	藻類/水生植物	魚類	甲殻類
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	-	213 - 242: 96 h <i>Pimephales</i>	-

ート		<i>promelas mg/L LC50 flow-through 227: 96 h Pimephales promelas mg/L LC50</i>	
1-メチル-1-フェニルエチルヒドロペルオキシド	-	3.9: 96 h <i>Oncorhynchus mykiss mg/L LC50 static</i>	7: 24 h <i>Daphnia magna mg/L EC50</i>
1,2-プロパンジオール	19000: 96 h <i>Pseudokirchneriella subcapitata mg/L EC50</i>	41 - 47: 96 h <i>Oncorhynchus mykiss mL/L LC50 static</i> 51600: 96 h <i>Oncorhynchus mykiss mg/L LC50 static</i> 710: 96 h <i>Pimephales promelas mg/L LC50</i> 51400: 96 h <i>Pimephales promelas mg/L LC50 static</i>	10000: 24 h <i>Daphnia magna mg/L EC50</i> 1000: 48 h <i>Daphnia magna mg/L EC50 Static</i>
マレイン酸	-	5: 96 h <i>Pimephales promelas mg/L LC50 static</i>	250 - 400: 48 h <i>Daphnia magna mg/L EC50</i>
アクリル酸	0.17: 96 h <i>Pseudokirchneriella subcapitata mg/L EC50</i> 0.04: 72 h <i>Desmodesmus subspicatus mg/L EC50</i>	222: 96 h <i>Brachydanio rerio mg/L LC50 semi-static</i>	95: 48 h <i>Daphnia magna mg/L EC50</i> 270: 24 h <i>Daphnia magna mg/L LC50 Static</i>
クメン	2.6: 72 h <i>Pseudokirchneriella subcapitata mg/L EC50</i>	2.7: 96 h <i>Oncorhynchus mykiss mg/L LC50 semi-static</i> 4.8: 96 h <i>Oncorhynchus mykiss mg/L LC50 flow-through</i> 5.1: 96 h <i>Poecilia reticulata mg/L LC50 semi-static</i> 6.04 - 6.61: 96 h <i>Pimephales promelas mg/L LC50 flow-through</i>	7.9 - 14.1: 48 h <i>Daphnia magna mg/L EC50 Static</i> 0.6: 48 h <i>Daphnia magna mg/L EC50</i>

生物蓄積

情報なし。

セクション13: 廃棄上の注意

残留物/未使用製品からの廃棄物

廃棄は、適用される地方、国、地域の法律及び規制に従って行わなければならない。

汚染された梱包

容器を再利用しないこと。

セクション14: 輸送上の注意IMDG

規制対象外

IATA

規制対象外

セクション15: 適用法令国際インベントリー

TSCA	適合する
DSL/NDSL	適合する
EINECS/ELINCS	未確定
化審法	適合する
IECSC	適合する
KECL	適合する
PICCS	未確定
AICS	適合する

凡例:

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー

DSL/NDL - カナダ国内物質リスト / 非国内物質リスト
 EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー / 欧州新規届出商業用化学物質リスト
 ENCS - 化審法既存物質
 IECSC - 中国現有化学物質名録
 KECL - 韓国既存化学物質目録
 PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー
 AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

労働安全衛生法

化学物質名	危険物質	有機溶媒	労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険物及び有害物	ISHL - 特定化学物質(クラス2)による危険有害性の防止	鉛中毒の予防
1-メチル-1-フェニルエチル =ヒドロペルオキシド 80-15-9	Explosive substance X	該当しない	該当しない	-	-
アクリル酸 79-10-7	Flammable substance X ≥1 %	該当しない	X	-	-
クメン 98-82-8	Flammable substance X ≥0.1 %	該当しない	X	-	-

化学物質名	クラス 2	クラス 1	毒物及び劇物取締法	消防法:
2-ヒドロキシエチルメタ クリレート 868-77-9	該当しない	-	該当しない	Group
1-メチル-1-フェニルエチル =ヒドロペルオキシド 80-15-9	該当しない	440	該当しない	Group
1,2-プロパンジオール 57-55-6	該当しない	-	該当しない	Group
アクリル酸 79-10-7	該当しない	4	-X	Group
クメン 98-82-8	該当しない	83	該当しない	Group

消防法:

セクション16: その他の情報

改訂日 13-1-2020

安全データシートで使用される略語および頭文字のキーまたは凡例
 ・情報なし

免責事項

このSDSは、JIS Z 7250:2010およびJIS Z 7252:2009(日本)の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートの終わり